「離散数学・オートマトン」演習問題 02 (解答例)

2020/10/13

1 命題

課題1 以下の命題の真理値表を作成しなさい。

- 1. $\neg p \lor \neg q$
- 2. $\neg (\neg p \lor q)$
- 3. $\neg (p \land \neg q)$

解答例

p	q	$\neg p \lor \neg q$	$\neg \left(\neg p \lor q \right)$	$\neg (p \land \neg q)$
F	F	Т	F	Т
F	Τ	Т	F	Т
\mathbf{T}	F	T	T	F
\mathbf{T}	Т	F	F	${ m T}$

参考までに、Python での実行例を示す。

```
1 \, \big| \, \mathrm{pd} = [\mathrm{False}, \, \mathrm{True}]
  qd = [False, True]
  for p in pd:
3
        for q in qd:
4
            x = (not p) or (not q)
5
             y = not ((not p) or q)
6
7
             z = not (p and (not q))
             m = f'\{p\}:\{q\}:\{x\}:\{y\}:\{z\}'
8
             print(m)
9
```

- 1 False:False:True:False:True
- 2 | False:True:True:False:True
- 3 True:False:True:False

4 | True:True:False:False:True

このコードは、以下の Github から取得できます。

https://github.com/discrete-math-saga/PropositionsAndPredicates/

課題 2 A を無限集合、B を有限集合とするとき、C = A - B が無限集合であることを、背理法を用いて示せ。

解答例 $D=A\cap B$ とすると、 $A=C\cup D$ である。 $D\subseteq B$ であることから、D は有限集合である。C を有限集合とすると $|A|\leq |C|+|D|$ より、A は有限集合となり矛盾する。よって、C は無限集合である。

2 述語

課題 3 N^3 上の述語 P(x,y,z): x=yz は、x が $y\times z$ であるとき真である。このとき $Q(x,y): \exists z P(x,y,z)$ が真となるのは、どのような (x,y) に対してか、答えなさい。 解答例 Q(x,y) が真となるのは、「x は y で割り切れる」場合である。